

# 図書館報

聖隷クリストファー大学

第22号 2024.4

📖 「つなぐ」図書館 飯田真也 .....1	📖 国立国会図書館の図書館向け デジタル化資料送信サービス .....6
📖 図書館の旅 佐久間佐織 .....3	📖 この一冊 .....7
📖 人の生活、人生を想像する力 佐藤順子 .....4	📖 本学図書館学生スタッフからの お勧めの一冊 ..... 10
📖 私なりの図書館活用の意義 金原一宏 .....5	📖 学認でリモートアクセス！ ..... 11



## 「つなぐ」図書館

図書館長

国際教育学部こども教育学科 教授 飯田 真也

公立小・中学校教員を経験した後に本学にお世話になっています。公立小・中学校には、地区教育研究会があり、国語部、算数部などの教科等の部会に分かれ、教育研究活動を推進します。私の小学校勤務最後の地区教育研究会は、学校図書館部に所属しました。

第1回目の会場は、音楽室でした。通常、図書室で行うことで会場校の図書室経営を含めて学ぶ機会とするのに、音楽室だったので違和感を覚え入室しました。

周りを見ると、背面には作曲家の大家の肖像画がずらっと掲げられ、いかにも音楽の教室という感じがしました。正面には、音楽史が掲示され、その最

初の事績に「ピタゴラス音階」が書かれていました。音楽史のスタート、原点に「ピタゴラス」が登場し、音階を理論化した業績の大きさが読み取れました。

会の挨拶では、せっかくの音楽室開催だったので、次の投げ掛けをしてみました。

この音楽室には正面に音楽史が、背面には肖像画が掲示されています。音楽史の最初に登場し多大な貢献をしたピタゴラスの肖像画は、なぜないのか、不思議に思いませんか。

今年の図書館部の研究テーマは、「知識をつなげる 学びを広げる 心をはぐくむ 学校図書館」です。音楽室にピタゴラスが掲示されていれば、ピタゴラスがフック・引っかかりになって、音楽と算数・

数学とが「つながる」のです。音楽室が作曲家だけの狭い世界に閉じている状態から他教科へと広がる可能性が高くなるのではないのでしょうか。

各教科からのフックを図書室につける働き掛け、各学校の図書室の本に各教科につながるフックをつけておく仕掛けが必要ではないか、とこの教室で思いました。

時間があつたので、問題も出してみました。

せっかくピタゴラス音階が出ているので、ここで問題です。

問 ドの＃とレの♭は、同じ音ですか？

・ …

どうも困った顔が多いですね。答えは、違う、です。

ピアノと同じですね。白鍵と黒鍵しかないので、同じ鍵盤を叩くことになるので同じ音となります。ピタゴラスは、弦で実験しました。弦の長さを調整することで白鍵と黒鍵の途中の音も表現できます。ピアノの音は四捨五入して数字を整数に丸めた感じですが、弦の方は整数に丸められる前の小数まで表現できる感じ。だから、ドの＃とレの♭の違いも表現できるのです。

ちなみに、東洋（中国）では、弦ではなく、竹で音階理論につなげたようです。竹を切って、風がくると音が鳴ります。竹の長さによって音が変わるのでピタゴラス音階と同じ音階ができます。

さて、音楽室は作曲家ですが、理科室や家庭科室、図工室、体育館など他教科の教室には、肖像画が飾られているのでしょうか。体育館に選手の肖像画はまじらないでしょう。

他教科では、「物」が置かれています。

そう思うと、音楽は誰（Who）が、を重視する理由を知りたくなりますね。他教科とつなげることで、

音楽室や教科としての音楽の特色が見えてきます。

学校図書館部は、本を通してAとBをつなげる媒介役ではないか、と思います。テーマに沿って、様々なものをつなげることができれば、と思います。

初めての学校図書館部所属によって、1年間で多くのことを学びました。

ビブリオバトル実技、子供にとっての絵本とは、地区での研究発表内容検討、…そう言えば、磐田市で新設した新しいタイプの施設である「ひと・ほんの庭 にこっと」の落成式にも呼ばれました。

子育て支援、相談機能と図書館機能を融合させた施設は、学校図書館部がねらっていた「つなげる」機能そのものです。「にこっと」のように、異質のものをつなげてみれば図書館の新たな可能性が出てくるかもしれません。

昨年度、本学に国際教育学部が新設されました。東海北陸地方で唯一の国際バカロレア教員（PYP）養成校としても認められました。養成で求められる国際的な視野の涵養は、今後一層求められる教員等の大切な資質です。

既存の学部では充実している外国語書籍・文献等を国際教育学部でも計画的に整備していくことで、却って日本や地元の教育界にも貢献できると考えています。例えば、日本が取り入れた英米式のわり算形式だけでなく、ドイツ式の小学校教科書をみれば、「わり算＝分数＝比」が三位一体のものとして現れてきます。国際教育学部ならではの理解の深め方といえます。また、国内外を問わず各種教科書を卒業生や地元の教員も利用できれば、大学と地域もつながるのではないのでしょうか。

新設学部誕生を機会に図書館のつなぐ役割を一層進めることができれば、と思います。



## 図書館の旅

看護学部看護学科 教授 佐久間 佐織

私は、小学生のころ図書館が好きで、よく友達と一緒に学校や市の図書館に通っていました。本を読むことが好きというよりも、図書館という場所が好きでした。少しひんやりとして静まり返った、その反面、どこか温かくのんびりした雰囲気落ち着くのと、たくさんの本に囲まれていると、自分が賢くなったように思えるからです。

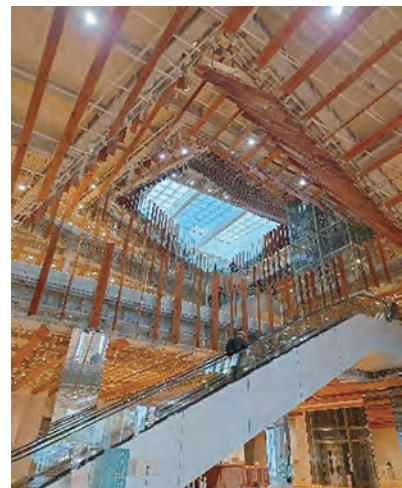
大人になってからは、図書館に行く頻度はうんと少なくなってしまうしましたが、図書館という建物に惹かれるようになりました。それは、何かの雑誌で、秋田県にある国際教養大学の中嶋記念図書館の写真を見たことがきっかけでした。この大学図書館は、建築家の仙田満氏（東京工業大学名誉教授）の設計で、建築に関する有名な賞を多数受賞されています。ホームページによると、この図書館は「本のコロセウム」をテーマに「本と人との出会いの場となる劇場空間」としてデザインされたそうです<sup>1)</sup>。24時間365日開館していて、学生たちが本と向き合い、勉

学に打ち込む「知の闘技場」でもあると説明されています。まさに、コロセウムという表現がぴったりの、円形に配置された本棚がとても美しい図書館です。このような美しい図書館だったら、素敵な本との出会いがありそうだと期待が高まりますね。

はじめてこの図書館の写真を見てからもう20年以上が経ちましたが、まだこの憧れの図書館を訪問できていません。いつか行ってみたいと思っています。国内外には、素敵な図書館は数多あります。旅先で偶然に素敵な図書館と出会ったこともあります。たとえば、5年前に学会で訪れたスウェーデンでは、会場のDalarna Universityを散策していたら、白を基調とした北欧らしいデザインの小さな図書館を見つけました。富山県のガラス美術館を訪れた時には、木材がたくさん使われた吹き抜けの建物のなかに富山市立図書館が併設されていて、開放的な雰囲気が印象的でした。ほかにも、高知県にある「ゆすはら雲の上の図書館」や岐阜県の「岐阜市立中央図



Dalarna University / Falun, Sweden  
(2019年3月撮影)



富山市立図書館／富山県富山市  
(2023年11月撮影)

書館」もたまたま出会った素敵な図書館です。将来、訪れてみたい海外の図書館もあります。米国ニューヨークにあるニューヨーク公共図書館 (New York Public Library) や、英国ロンドンにある大英図書館 (British Library) などは美しい図書館として有名で、画像を見ているだけでワクワクしてきます。みなさんも、旅先で図書館を探してみたいかたがでしょうか。お気に入りの図書館があれば、ぜひ教えてください。

読書は、人生を豊かにする冒険であると言われてます。書店もそうですが、図書館で自分の興味の有無

にかかわらず多彩な分野の本棚を眺めているだけでも豊かな時間になりますし、そのなかから読みたいと思える本に出会えたら最高にうれしい気分になりますね。本を読んだり、勉強したりしなくてもよいので、図書館で過ごす時間を楽しんでみてください。新しい感動や思考に触れられるような本に出会えるかもしれません。

- 1) 公立大学法人国際教養大学 中嶋記念図書館  
<https://web.aiu.ac.jp/education/support/library/> (参照：2023年12月27日)



## 人の生活、人生を想像する力

社会福祉学部社会福祉学科 教授 佐藤 順子

対人援助専門職にとって「対象はだれか、どういう問題・課題か」は、専門性を説明する際の本質的な問いである。ソーシャルワークにおいて、特に個別支援の対象は「生活のしづらさ、それを抱えた人(とその環境、及び相互作用)」であり、支援のための対象理解においてはhere and nowの日常生活はもちろんのこと、これまでとこれから先に連続するクライアントの人生についての理解、洞察が必須の要件となる。これは福祉以外の対人援助の専門職においても程度の差こそあれ同様であろう。さらにソーシャルワーカーが依って立つべきとされる7つの原則の中に「受容」、「非審判的態度」というものがあり、これらを身につけることができるか否かは、自分自身の経験とその中で培われた価値観を超えて、人の生活、人の人生というものをどのくらい想像し、理解することができるかにかかっているよう

に思う。

40年位前、今よりずっとずっと未熟者だったころ、ただ大学で社会福祉を学んできた、ということだけで専門職と自認(誤認)していた私は、クライアントとの関係においていくつかの失敗を繰り返し、ずいぶん自己嫌悪を含め痛い目に合ってきた。ここでは詳述しないが、全ては人それぞれの生活のあり様、その前提としての価値観、人生観は多様である、という当たり前のことに無頓着であったことに起因する。そのことを自覚した私は、同業の先輩の助言もあり、本、特に小説を読むこと、映画を観ることを心掛けてきた。

小説や映画の中では、幾多の作者、脚本家によって何百とおり、何千とおりの人間とその生活、人生が描かれ、この根底にある思想・哲学が登場人物とおして体現され、語られる。一方、読み手、ある



いは鑑賞者は想像の世界ではあるが、登場人物を自分の分身、また旧知の間柄のように感じ、知らぬ間にさまざまに感情が揺さぶられる体験をする。時に物語が終わっても、「その後、彼、彼女はどのようにしているだろう」など想いを馳せることもあり、登場人物との出会いが自分にとってかけがえのないものとするら思うこともある。この感覚が、専門職となるた

め、という目的を超えて私自身に与えた影響は計り知れない。

皆さん、本を読みましょう、映画を観ましょう。決して斜め読みや早送りせずに。タイパなんぞを気にせず、先を急がず、じっくり行間、沈黙も味わいながら様々な人生にふれて、笑い、涙しましょう。



## 私なりの図書館活用の意義

リハビリテーション学部理学療法学科 教授 金原 一宏

皆さん、図書館利用していますか？最近、書籍もデジタル化が進みスマートフォンで読書する時代でしょうか？私の興味ある書籍は、専門領域とする「ペインリハビリテーション」、「慢性疼痛」、「脳科学」に関する書籍です。このような専門書ばかり読んでおり、最近、専門書以外の書籍を読む機会が少なくなっているのが悩みの種です。なぜなら一般書に触れる機会は、私の人生を充実したものにしてくれるからです。

さて私が、「痛みに関する理学療法、ペインリハビリテーション」に興味を強く持ったのは、大学院の恩師に強い影響を受けたからです。我々大学の教員は、教育だけでなく研究者として臨床現場を豊かにするため、書籍や学術誌を中心に様々な知識を得て研究仮説を立て、臨床でデータを測定し、新たな評価や治療技術を開発します。これまでの研究報告をもとに、新たな知を創造するのです。知の創造には、多くの知識を学修し、臨床において活かすことができるかを試行錯誤する努力が必要です。新たな知の創造には、失敗を恐れず挑み、何事も達成する

という強い意思が、重要です。先日、私は、大学院の恩師に哲学に関する書籍を頂きました。その書籍には、私の尊敬する恩師の思考や知識が含まれていました。私自身の憧れは、図のように書籍を通して自分の興味や関心を恩師と共有できると考えます。

さらに言うと、個人的な繋がりを深め、勝手ですが恩師と親密になれた気がする訳です。自身の将来像を尊敬し憧れる存在である恩師に重ねているのかもしれない。このような時は、自身の感情は高揚を感じます。書籍には、様々なパワーがあると思いませんか？

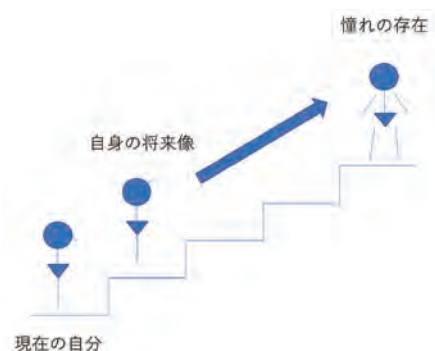


図. 書籍を通して自分の興味や関心を恩師と共有する  
自身の将来像を尊敬し憧れる存在である恩師に重ねる

私は学生時代、大学の施設で静かに落ち着ける場所、さらに空調も管理された環境抜群の場所である図書館を、読書や個人学習に活用していました。まさに快適という言葉がふさわしい、この図書館を利用しない手は、ないですね。今も、本学の図書館に行くと、学生の皆さんが、各々の使用目的で利用され、ご自身の知識を蓄え、友人と討議して学修している姿に過去の自分を重ねます。

学生時代から現在まで、私は自身の興味関心のあることに没頭し、学修してきました。ですが、大学の教員となってからこれまでを振り返り、考えることがあります。それは、教養の大切さです。現在、大学の教員として教鞭に立ち、臨床では、理学療法士として、学生や大学院生指導、現場の理学療法士を指導しています。さらにペインクリニックの医師の方々と臨床協力し、慢性疼痛患者を治療しています。臨床においては、患者さんとの信頼関係の構築が大切です。その際、理学療法士として患者さんの信頼を得る時、教養が大切になるのです。さらにいうと、教員として学生や院生の指導、保証人の方へ

お話をする際、教養が重要となります。教養とは、学問や知識をしっかりと身につけることによって養われる心の豊かさであり、コミュニケーションの際は、話し手がオーラのごとく身にまとい、話し方やその振る舞いに現れてきます。当然、専門領域だけでなく様々なことに関心を持ち、教養を深めようとする教員もいるわけで、そのような方を私は尊敬しています。私も意識して教養を豊かにするよう行動しています。教養を高める行動をする際、私は図書館を利用することに、大きな利があると思います。学生の皆さんの学修は、医療専門職者として関わる患者さんのためだけでなく、これから皆さんの人生に関わる人々に大きく影響すると思います。是非、この大学生活の間に図書館を活用し、今後の人生に役立つ情報や振る舞いを手に入れてください。皆さんが後進の育成に関わる際、皆さんが身に着けた教養によって、後輩が尊敬の眼差しで憧れる先輩になれると思います。皆さんの教養が高まることを祈っております。

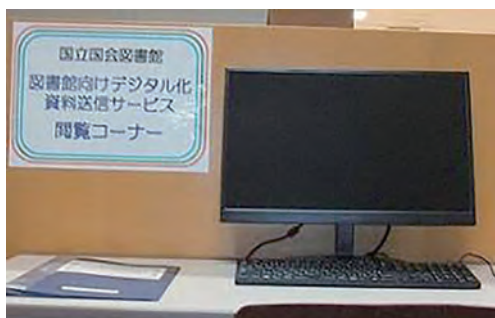
.....

## 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスが利用できます。

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」は、デジタル化した図書や雑誌のうち、絶版などで現在手に入らない図書や雑誌が利用できるサービスです。約150万点の絶版資料を、デジタル画像で見ることができます。本学図書館では、2023年10月から利用を開始しました。

閲覧は、カウンターに声をかけてから利用してください。

### 利用できる主な資料



図書	昭和43年頃までに国立国会図書館が受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部 (現在も流通しているものや、漫画・絵本)
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等
雑誌	明治期以降に発行された雑誌で刊行後5年以上経過したもの(商業出版社によるもの)
博士論文	昭和63～平成12年度に送付を受けた論文 (商業出版されているもの)

※( )は国立国会図書館内のみの利用

# この一冊



本学教員からのお勧めの一冊

## 『行動経済学が最強の学問である』

相良奈美香著 SBクリエイティブ



マクドナルドは顧客アンケートから人のヘルシー志向に合わせてサラダマックを開発しましたが大失敗しました。Amazonでは何かを買うと「それに関連する商品を買っている人」が紹介されます。これらはすべて行動経済学が鍵を握っています。行動経済学では「人はそもそも非合理的な判断の元に行動する」とし、そうした人の心の不思議を分析して人の経済活動を豊かなものにしようとしています。そこに心理学が大きな役割を果たしているのです。本書はこの新しい学問を、人の行動を左右する「認知のクセ」「状況」「感情」という観点から体系化を試みた意欲作です。身近な事例もふんだんに盛り込まれているのでとても実感できることが多く、楽しく読むことができます。

国際教育学部こども教育学科 准教授 内山 敏



## 『ケアとは何か：看護・福祉で大事なこと』

村上靖彦著 中央公論新社



毎年3年生の最初のゼミで輪読書としている本です。著者は現象学の専門家です。この本は、福祉や看護、リハビリといった専門性を超えた対人援助職として大切な、人とひとのかかりについて具体例を示しながらわかりやすく書かれています。存在の肯定的相互関係性、つまり、あなたとわたしの相互のかかりを通して、弱くてよい、あなたのままで、わたしのままで、そのままでよい、そんなメッセージが込められています。

社会福祉学部社会福祉学科 助教 小畑 美穂



## 『盾（シールド）』

村上龍著 幻冬舎



皆さんは、“盾、シールド”と聞いて何を思いますか？

本書の“盾、シールド”とは、自分の心を守ってくれるものを指します。

近年めまぐるしく変化する社会の中、私達の人生は長く、浮き沈みの連続です。だからこそ、人には大切な心を守るための“盾、シールド”が必要だ、というお話です。

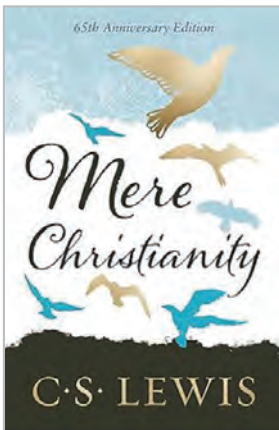
是非、皆さんが自分自身にとっての“盾、シールド”とは何かを考え、素敵な“盾、シールド”を手に入れられることができるよう願っています。

看護学部看護学科 助教 加藤 貴子



## 『Mere Christianity』

C.S. Lewis 著 HarperCollins Publishers



子供の頃、両親からCSルイスの『The Chronicles of Narnia /ナルニア国物語』シリーズをもらいました。大人になってから、CSルイスのノンフィクション作品に興味を持つようになりました。ルイスの著書『Mere Christianity』は、キリスト教の原則を探求し、複雑な倫理的課題に対する理解を深めるのに役立ちました。この本はクリスチャンにとってもそうでない方にとっても示唆に富み、批判的思考と自己反省の機会を与えてくれます。36カ国語に翻訳されたこの本は、時の試練に耐えた古典であり、「必読書」リストに加えるべき良書だと思います。

リハビリテーション学部言語聴覚学科 准教授

Kuramoto Christine Dianne





## 『人間らしさとはなにか? : 人間のユニークさを明かす科学の最前線』

マイケル・S・ガザニガ著 ; 柴田裕之訳 インターシフト



マイケル・S・ガザニガは、さまざまな人間ならではの能力、たとえば言語や抽象的思考、想像力、互惠関係に関する研究に注目し、「人間らしさとはなにか?」と問いかけた。この筆者が研究を始めた動機の一つは、病気やケガの苦しみを和らげる手助けがしたいという願望があったからであると述べている。そして、共感や思いやりの心につき動かされるというのは、きわめて「人間らしい」ものであると論じている。大学院の時に出会い、いま読み返しても、「人間らしさとは何か?」と考えさせられる、おすすめの一冊です。

リハビリテーション学部言語聴覚学科 准教授 黒崎 芳子



## 『救児の人々 : 医療にどこまで求めますか』

熊田梨恵著 ロハスメディア



この本は、私が教員になった頃、大学時代の同級生が紹介してくれました。早産児、低出生体重児、障がいがある児を出産しNICU（新生児集中治療室）に入院した児の親の声が丁寧に語られています。混沌とする気持ちに、医療者がどのように向き合うか。初めてこの本を読んだ際には、命についての向き合い方も含め、一言では表せない気持ちになりました。現実を見つ、医療者として、死生観や社会について、今一度考えたい本だと思います。

看護学部看護学科 准教授 室加 千佳





## 本学図書館学生スタッフからのお勧めの一冊

『子どもが教えてくれましたほんとうの本のおもしろさ：保育園で読んだ154さつ』

安井素子著 偕成社



この本の著者、安井素子さんは公立保育園で30年以上働く保育士です。この本では、安井さんが子どもたちと一緒に読んできたたくさんの絵本から、154冊の絵本とその絵本に心を動かされた子どもたちのエピソードを紹介しています。

この本を読むと、子どもたちの素直なリアクションに共感できることもあれば、予想外の反応に驚かされることもあります。将来子どもたちと一緒に絵本を読むことが楽しみになります。

保育士を目指す人もそうでない人も引き込まれると思います。ぜひ読んでみてください。

国際教育学部 学生 中島 萌香



『大人たちはなぜ、子どもの殺意に気づかなかったか？』

：ドキュメント・少年犯罪と発達障害』

草薙厚子著 イースト・プレス



2005年、静岡県内の高校に通う少女が母親を毒物で殺害しようとする事件が起きました。世間を震撼させたのは少女の猟奇さですが、これを本人の性格や気質の問題として片付けてしまうのは簡単でしょう。少女は“変わり者”として、クラスでも家庭でも孤立し、化学の世界だけが彼女にとっての居場所でした。加虐嗜好という鎧をまとうことによって、自分を守ろうとしたのです。

「貧すれば鈍する」という言葉がありますが、私は、人間を最も鈍させるのは「孤独」だと思います。俗にいう“性格の悪い人”も、その正体は寂しさを抱えた人なのではないでしょうか。電化製品は充電がなければ動かないように、社会的動物である人間にとって、誰かと繋がっている実感がない、心が空っぽの状態で人に優しくするのは難しいものです。そして、この大学の学生なら一度は思いを巡らせる「隣人愛」とは、その寂しさに寄り添えることを指しているのかもしれない。

看護学部 学生 中森 夢麗



# 学認でリモートアクセス！

学認を利用してログインすることにより、今までは学内でのみアクセス可能だったe-リソースの一部が、学外からリモートアクセスできるようになりました。ログインは、学内の各システム・サービスで使用しているIDとパスワードで利用できます。

図書館ホームページ「調べる・探す」ページでは、本学で利用可能なe-リソースをまとめて掲載しています。**【学認】**の表示があるものは学認に対応しています。

学認：学術認証フェデレーション

学術e-リソースを利用する大学、学術e-リソースを提供する 機関・出版社等から構成された連合体

e-リソース：インターネット上で利用可能な電子ブックや電子ジャーナル、データベースなど



## ●学認への入り方

「学認対応電子ジャーナル」ページのリストにあるそれぞれの学術e-リソースをクリックしてサイトを開き、「学外からのアクセス方法」にある「マニュアル」を参照し、ログインします。

電子ジャーナル	提供機関	学外からのアクセス方法
① EBSCOhost	EBSCO	マニュアル
② OXFORD ACADEMIC	HighWire Press, Inc. (Oxford University Press)	マニュアル
③ ScienceDirect	Elsevier	マニュアル
④ SpringerLink	Springer Nature	マニュアル
⑤ Taylor & Francis Online	Taylor & Francis	マニュアル
⑥ WILEY ONLINE LIBRARY	John Wiley & Sons	マニュアル
⑦ ジャパンナレッジLib	株式会社ネットアドバンス	マニュアル
⑧ メディカルオンライン	株式会社メテオ	マニュアル
⑨ 医中誌Web	NPO医学中央誌刊行会	マニュアル
⑩ Ovid Nursing Full Text	Wolters Kluwer	マニュアル

学術e-リソース名をクリックすると、それぞれのサイトに飛びます。

「マニュアル」をクリックすると、それぞれの学術e-リソースのログインの仕方が表示されます。

●学認で対応している学術e-リソース

データベース ⑨医中誌Web ①EBSCOhost

電子ジャーナル ⑧メディカルオンライン ⑩OvidNursingFullText  
②～⑥JournalWebの一部

辞書・事典 ⑦ジャパンナレッジLib

●学認で対応している「JournalWeb」の雑誌

リストにある契約雑誌以外にもオープンアクセスになっている論文などがあります。

②OXFORDACADEMIC

Brain (1996-2022)

Gerontologist (1996-2022)

Health & Social Work

Physical Therapy

Social Work

Social Work Research

③ScienceDirect

Chest

④SpringerLink

Clinical Social Work Journal

Dysphagia (1997-2020)

Journal of Autism and Developmental Disorders

⑥WileyOnlineLibrary【John Wiley & Sons】

International Journal of Language & Communication Disorders (1997-2014 49(1),2016-2023)

Journal of Midwifery and Women's Health (2017-2023)

Research in Nursing & Health

Australian Occupational Therapy Journal

Child and Family Social Work (2016-2023)

Developmental Medicine & Child Neurology (1997-2023)

International Journal of Social Welfare

International Nursing Review (2006-2009 56(1),2016-2023)

Journal of Advanced Nursing

Journal of Nursing Scholarship

Journal of Psychiatric & Mental Health Nursing (2017-2022)

Journal of School Health (2017-2023)

Public Health Nursing

⑤Taylor&FrancisOnline

Activities, Adaptation & Aging (1997-2022)

Journal of Community Health Nursing (1997-2023)

Journal of Ethnic & Cultural Diversity in Social Work (1997-2023)

Journal of Occupational Science

Journal of Social Welfare & Family Law (1997-2023)

Occupational Therapy in Mental Health (2007-2020)

Psychoanalytic Social Work (1997-2023)

Scandinavian Journal of Occupational Therapy (2004-2020)

Social Work Education (1997-2022)



図書館報 第22号/発行・聖隷クリストファー大学図書館/2024年4月1日

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453/TEL:053-439-1416/FAX:053-414-1146

E-mail: cl-library@seirei.ac.jp 図書館ホームページURL: https://lib.seirei.ac.jp/library/